



研究報告集録 第 131-03

ISSN 1344-7572

# 「学習評価をいかした授業改善」に関する 実践研究

平成 28 年 3 月  
大阪府教育センター

## 1 研究の概要

### (1) 研究主題

「学習評価をいかした授業改善」に関する実践研究

### (2) 研究期間

平成27年度（1年間）

### (3) 研究の目的

アクティブ・ラーニングの実践研究を進めると共に、学習評価をいかした授業改善を推進し、学習目標・学習指導・学習評価を一体と捉えた授業について研究を進め、学校力の向上と指導者の授業力向上を図り、児童生徒の学びの質を深めることをめざす。

### (3) 教育課程上の必要性

今求められている力を子どもたちに育むためには、「何を教えるか」という知識の質や量の改善はもちろんのこと、「どのように学ぶか」という、学びの質や深まりを重視することが必要であり、学びの成果として「どのような力が身に付いたのか」に関する学習評価の在り方についての改善が必要である。そのために、アクティブ・ラーニングの実践研究を進めると共に、学習評価をいかした授業改善を推進し、学習目標・学習指導・学習評価を一体と捉えた授業について研究を進め、その成果を府内に発信する。

### (4) 研究仮説

課題の発見と解決に向けた主体的・協働的に学ぶ学習を進めつつ、学びの成果として「どのような力が身に付いたのか」を見取り指導にいかす、学習評価をいかした授業改善をすすめることで、子どもたちの学びの質を深めることができるであろう。

### (5) 研究の方法

#### ① 授業改善校内研究ワーキングにおける研究

- ・授業改善校内研究ワーキングにおいて、学習評価をいかした授業改善についての情報収集および、先進的な取組や授業改善のポイントについての情報発信を行う。
- ・市町村教育委員会指導主事と協働で、ワーキング参加校へ学習評価をいかした授業改善について校内研究支援を行い、情報収集を行うとともに、子どもの学びに焦点を当てた授業改善を推進する校内研究体制を構築する。
- ・ワーキング・スタッフ会議を通して、学習評価をいかした授業改善に関する学習会や情報交流を行い、指導主事の指導力の向上を図る。

#### ② 実践協力校における研究・開発

- ・「学習評価をいかした授業改善に関する実践協力校（「アクティブ・ラーニング実践研究」実践協力校）を指定し、学校・市町村教育委員会と共同で指導と評価の計画を含めた単元全体のデザインや授業について研究開発を行う。

#### ③ 学力調査の分析

- ・全国学力・学習状況調査や学びチャレンジテストの結果を分析するとともに、それらを活用して授業改善の在り方についての研究を進めると共に、府内に発信する。

#### ④ 成果のまとめ

- ・研究フォーラムや校内研究のまとめとして取組実践を発信する。

### (6) 連携・協働の概要

小中学校課と以下の点で連携しながら研究を進める。

- ・「学習評価をいかした授業改善」に関する実践協力校は、「アクティブ・ラーニング実践研究」実践協力校を兼ねる。
- ・「スクールエンパワーメント推進事業」推進校は、授業改善校内研究ワーキングに参加する。

## 2 研究内容

### (1) 授業改善校内研究ワーキング

#### ① 各地区ワーキングにおける情報収集および発信

「校内研究の活性化と自立化」「校内研究担当者の育成」を目的として、地区別に校内研究ワーキングを実施した。大阪府教育センターから「学習評価をいかした授業改善」について講義や演習を通しての発信や、参加校どうしでの情報交換を行いながら、「学習評価をいかした授業改善」について推進を図った。

また、参加者が校内研究を推進するためのツールとして、校内研究で活用できる資料のデータや校内研究で活用できる読み原稿付きのパワーポイントデータ、全国学力・学習状況調査の分析用データ等を収録した「校内研究ツールパックCD」や「校内研究の葉」を参加校に配付した。

◇ワーキング参加者249校（小141校、中108校）252名（地区別に3回実施）

#### 資料1：校内研究ツールパックCDの収録内容

H27年度 校内研究支援プロジェクト 授業改善校内研究ワーキング Data CD	
01_冊子	
01_学校改善のためのガイドライン	pdf
02_大阪の授業STANDARD	pdf
03_校内研究の葉	pdf
04_単元別テストを活用した授業サンプル集	pdf
02_学習指導案の事例	
01_学習指導案例1【単元の言語活動】小国	word
02_学習指導案例2【指導と評価計画】中数	word
03_学習指導案例3【観点別判断基準】高英	word
04_学習指導案例4【個の指導と評価】支援小国	word
03_学習指導案の作成	
01_学習指導案について	word
02_学習指導案作成のポイント	word
03_指導案作成時に留意したい事項	word

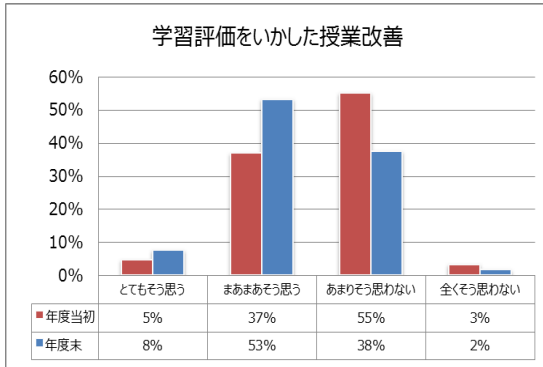
04_ST分析セット（時間掲示）濃線	
01_ST-analsis-soft-Ver-2_2（時間表示あり）濃線	excel
02_時間掲示と写真フォルダーの設定について	word
05_研究討議会	
01_授業観点シート	word
02_研究討議会の進行	word
03_研究討議会のまとめ シート	word
04_研究授業・討議会チェックシート	word
05_研究討議会資料作成の方法（マニュアル Ver. 2）	ppt
06_研究討議会資料用フレーム（Ver. 2）	ppt
06_全国学力・学習状況調査の分析	
01_H26児童生徒質問紙調査分析ファイル	excel
02_H26児童生徒質問紙分析ファイル入力方法	word
07_全国学力・学習状況調査の考察	
01_H26全国学テ 各教科の問題から見える授業改善のポイント	ppt
02_【小国A2】指導にあたって	ppt
03_【小算A2(2)】指導にあたって	ppt
04_【中国A6(1)】指導にあたって	ppt
05_【中数A4(3)】指導にあたって	ppt
08_校内研修（プレゼン読み原稿つき）	
01_第1回校内研究全体会シミュレーション	ppt
02_校内研究の充実に向けて	ppt
03_全体研修会（研究の「まとめ」と「評価」）プレゼン資料	ppt
04_目標に準拠した評価をいかした授業づくりについて	ppt
05_学習評価をいかした授業改善を進めるために	ppt
09_職員アンケート	
01_校内研究アンケート集計データ【『校内研究の葉』版】	ppt
02_校内研究アンケート集計データ【『大阪の授業スタンダード』版】	ppt
03_校内研究アンケート集計データ〔H26全国学力・学習状況調査 学校質問紙版〕	ppt
04_校内研究アンケートの集計データ作成について	ppt
10_その他（校内研究の葉より）	
01_(P3)校内研究アンケート	word
02_(P8)校内研究年間計画表（例）	word
03_(P15)授業・教材の工夫事例報告シート	word
04_(P20)個人研究シート	word

## ② ワーキング参加校への学校支援等

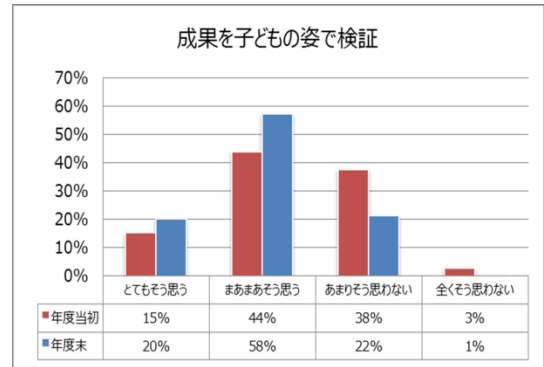
ワーキング参加校124校に対して、のべ397回の学校支援を実施し、学校の個別のニーズに合わせてながら、学習評価をいかした授業改善が進むように支援した。

＜ワーキング参加者の4月と1月のアンケートの比較（肯定的回答）＞

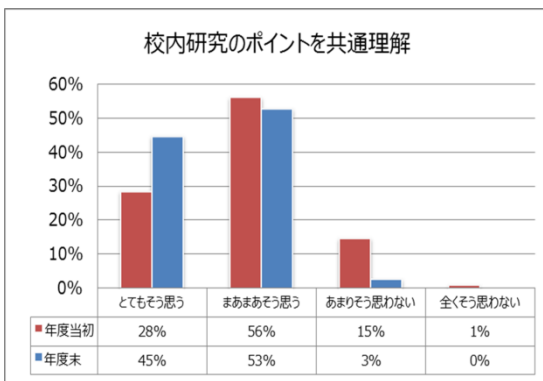
- ・「校内研究のポイントを共通理解したか」 … 84%⇒98%
- ・「校内研究の成果を子どもの姿で検証したか」 … 59%⇒78%
- ・「学習評価をいかした授業改善に取り組んだか」 … 43%⇒61%



資料2：校内研究のポイントを共通理解したか



資料3：校内研究の成果を子どもの姿で検証したか



資料4：学習評価をいかした授業改善に取り組んだか

③ ワーキング・スタッフ会議

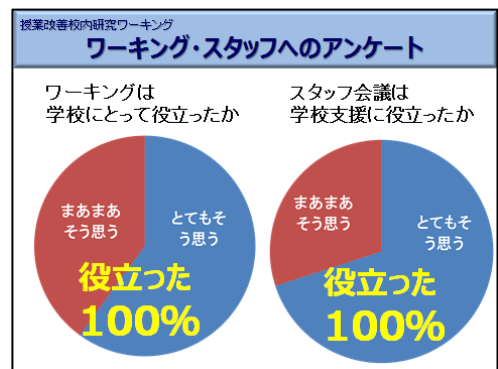
◇ワーキング・スタッフ41市町村 47名

ワーキングスタッフ会議を、全体会2回、地区別（7地区）会議2回実施した。ワーキングの企画・運営や市町村の取組の情報交換、学校支援における指導助言について指導案検討や授業ビデオを通しての学習会を行い、指導主事の指導力の向上を図った。

＜ワーキング・スタッフに対するアンケート結果＞

「スタッフ会議は、学校支援を行う上で役立ったか」

…100%



資料5：ワーキング・スタッフ会議のアンケート

(2) 実践協力校における研究・開発

本年度、府内5校を「『学習評価をいかした授業改善』に関する実践協力校」に指定し、大阪府教育センター指導主事がかかわりながら、実践研究に取り組んだ。

この5校は、国の平成27年度加配定数の改善における新たな定数措置により、大阪府教育委員会小中学校課が募集をかけ、応募した「アクティブ・ラーニング実践研究に関する実践協力校」も兼ねており、5校に対してのべ149回関わり、学習評価の充実を図りながらアクティブ・ラー

ニングを通して、学びの質を深める実践的な研究を推進した。

また、実践協力校での成果を、大阪府教育センター研究フォーラムA-1分科会で発信した。

#### 【実践協力校】

- ・四條畷市立四條畷東小学校
- ・大阪狭山市立南第一小学校
- ・貝塚市立北小学校
- ・大東市立南郷中学校
- ・摂津市立第二中学校

#### 【研究フォーラム A-1分科会】

◇参加人数：460名

◇テーマ： 「アクティブ・ラーニング！学習に向き合う子どもを育てる」

◇内容

○基調提案…学習目標・学習指導・学習評価の三位一体の授業改善

○実践報告

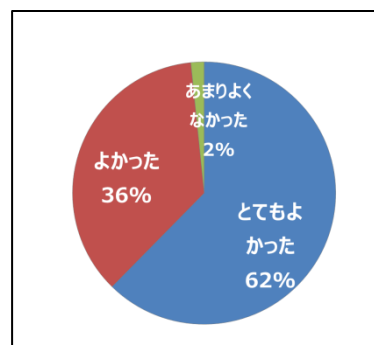
- ・四條畷市立四條畷東小学校の取組…評価をいかし支援の観点を明確にする。
- ・摂津市立第二中学校の取組…評価をいかした授業づくりから教員がアクティブに。

○国立教育政策研究所 白水総括研究員の講演

- ・「子どもの力を信じて引き出す新しい学び～内容と力を  
つなぐ学習活動～」

◇＜アンケートより＞

「分科会の内容について」肯定的な評価…98%

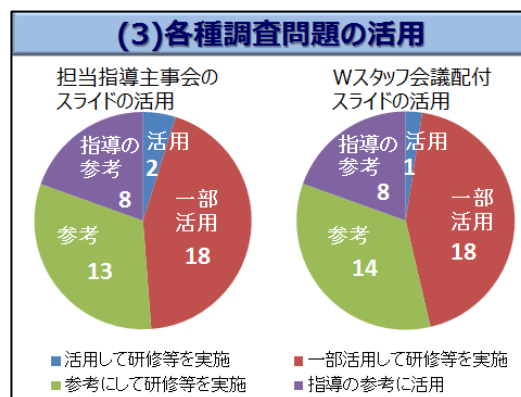


資料6：研究フォーラムアンケート結果

### (3) 各種調査問題の活用

全国学力・学習状況調査及び中学生学びチャレンジテスト等の分析を行い、調査問題や分析結果を活用した授業改善の在り方について、市町村学力向上担当指導主事会等で発信した。

また、学力向上担当指導主事会等で使用したスライドをwebで市町村教育委員会に提供し、学校への周知に活用できるようにした。



資料7：市町村における提供スライドの活用状況

## 3 今後の予定と成果物の活用

### (1) 校内研究のまとめ

各校の校内研究のまとめをCDに収録し、ワーキング参加校へ配付し、次年度の校内研究の参考にしてもらえるようにしする。また、実践協力校の実践は、web配信で配信する。

### (2) 校内研究ツールパックCD

本年度配付したものに本年度使用したデータなどを追加して改善したものを作成し、次年度、

校内研究担当者研修で配付し、活用を促す。また、学校支援のためのツールとして活用できるように市町村指導主事学習会で提供する。

#### 4. まとめ

本年度の研究を通して、「学習評価をいかした授業改善」に関する市町村教育委員会の取組や、校内研究の取組が進み、一定の成果が得られた。平成 27 年 8 月に出された「論点整理」においても、学習評価の充実の必要性が述べられているように、今後も「学習評価をいかした授業改善」がさらに推進されるように、様々な形で支援していければと思う。

平成 24 年度から進めてきたワーキングも一定の役割を終えた。次年度からは、ワーキングにおける学校支援のように訪問して支援するという形から、センターの研修を充実させ、学校や市町村で核となる人材を育成するという形にたたずまいを変え、市町村教育委員会への支援を継続していく。